



【校長先生便りです！ガレージは在籍したバンド名です。】

ガレージ通信

夢・進路相談室便り 第8号
三条市立下田中学校
TEL 46-2020
FAX 46-2036
令和5年12月13日(水)発行

中学(高校)3年の『冬休み』だけは、『受験追い込み』の冬！ ～ 勉強をやれば、やるほどに安心できる！！～

日本全国中学(高校)3年生の冬休みだけは、受験に向けた大詰めで、気の休まらない日々が続きます。安心するには、落ち着くためには、家庭学習をやれば、やるほどに安心できて、心は落ち着きます。環境の変化も大切です。私も私の子どもたちも、トイレの壁に歴史年表や難しい英単語を張り付けて覚えました！また夏休み前にもここで紹介しましたが、やはり次の二点がお勧めです。

- ①部活同様、「練習試合」つまり「自分一人模擬試験」を家で、冬休み中に二回は実施する！
(学校や書店で販売されている「入試過去(予想)問題集」を購入し、入試日程に合わせて実行)
- ②受験教材(3年「シュートク」2年「ま☆ナビ」)3回やる。2度間違った問題は問題丸ごと解答ごと全て教科別ノートに書き写し、それが自分オリジナル「弱点補強」ノートになる。

この弱点ノートは、その後の確認テスト(模擬試験)にとってもなく役立ち、受験当日も会場に持ち込んで、寸前まで見直しを繰り返し、手軽に、手元で、短時間に復習が出来ました。

新潟県の高校入試英語問題は、「日本一長い長文読解問題」と言われています。教科書本文とは、比べ物にならない45～50行の長文です。会話文と論説文の二大長文が出題されます。長文は、約12分～15分程度で解かなければなりません。1日1長文、初見問題を時間設定してやろう。慣れてくると「本文内容」とは関係なく、(もしくは本文理解できなくても)1問1答で、単独で解ける文法問題が、幾つもあることに気づきます。

また「文中の that は、何を指していますか？日本語で説明しなさい。」という問題がよく出ます。that は、前出の内容を受けているので、前文を日本語に翻訳すると、それがほぼ答えとなるはずで。

英語の出題構成は数十年全く変わらず、大きく4問の出題です。()内は、解く制限時間の目安です！

1問目リスニング(11分) 2問目会話文(12分) 3問目四行英作文(7分) 4問目論説文(15分) 計45分
で、残り5分を見直し時間に充てて、トータル50分で完答(無答がないように!)します。

さあみなさん、『17日間』もある寒い、長い、雪深い冬休みを熱い、厚い、「受験に打ち克つ冬」にしてください！必ず来春の入試結果に直結します！ *I hope that your dreams will come true !!*

三条市立下田中学校 校長 小熊 哲也

冬休み中に大切なこと三点!!

①不要不急の外出を避け学習時間を確保！ スマホは勉強部屋に持ち込まず学習環境を整備！

②手洗い・うがい・顔洗い！感染症予防に努め、体調を維持管理することで受験を乗り越える！

③「いろいろ」やるより、「同じもの」(3年「シュートク」2年「ま☆ナビ」)を何度も繰り返しやる！

◎校長先生一言アドバイス；「大晦日&お正月位は、家族とゆっくりと過ごしましょうネ♥」です◎

～ *The harder you study, the more you will feel at ease !!* ～